2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物形態機能学		担当講師 (実務経験)	斉藤　聡 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	1年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の両面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解する					
テキスト等	ビジュアルで学ぶ動物看護学　第2版					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	体の基本の仕組み 1	体の成り立ち
	2	体の基本の仕組み 2	体を包むもの
	3	体の基本の仕組み 3	体を支え、動かすもの
	4	栄養を取り入れる 1	消化器系と消化酵素・食べ物の通り道
	5	栄養を取り入れる 2	消化液・吸収された栄養分の使われ方
	6	酸素を取り入れる 1	外呼吸と内呼吸・空気を体の奥に運び込む
	7	酸素を取り入れる 2	血液中を流れるもの・リンパ管
	8	酸素を取り入れる 3	心臓(血液を送り出す)
	9	老廃物の排出、異物の撃退と解毒	腎臓(老廃物の排出)・肝臓(異物の撃退と解毒)
	10	感覚器 1	視覚・聴覚・平衡感覚
	11	感覚器 2	味覚・嗅覚・皮膚感覚
	12	体内の情報伝達 1	神経の働き
	13	体内の情報伝達 2	中枢神経系・末梢神経系
	14	子どもを産み育てる 1	生殖器・乳腺・ホルモン
	15	子どもを産み育てる 2	雄、雌の生殖器

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	トリミング学		担当講師 (実務経験)	長崎　幸恵 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	1年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	トリミングの目的や必要性を理解する					
テキスト等	トリミングテキストⅠ・トリミング器具					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	グルーミングとは	グルーミングの意義・目的・心構え
	2	実習器具の説明	実習器具の名称・種類・形・使用目的
	3	実習器具の保管・消毒法	実習器具の正しい手入れ、保管、消毒法
	4	トリミング実習時の身だしなみ	身だしなみのチェックポイント
	5	トリミング実習の流れ	トリミング実習の流れ、注意事項
	6	掃除・消毒	トリミング実習における衛生管理
	7	トリミング用語	トリミングにおける専門用語を知る
	8	グルーミングの手順	グルーミング実習における基本事項
	9	応急処置	応急処置の意義
	10	犬の体の基礎知識 1	犬体名称
	11	犬の心理・感覚	犬の行動を理解する
	12	犬の歯	犬の口腔内、お手入れについて
	13	犬の皮膚・被毛	皮膚・被毛の構造と生理
	14	犬の体の基礎知識 2	犬の毛色・狼指・狼爪・断耳・断尾
	15	犬種の特徴	代表的な犬種の原産地・被毛の特徴・毛色・性格を理解する

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物行動学（犬学）		担当講師（実務経験）	名取　裕憲 有■　無□	
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	1年　（　■前期　・　□後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（15）　後期（－）	時間（単位）	30（2）
概要	犬の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する				
テキスト等					

	評価方法	評価割合（%）
評価方法 評価基準	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

		講義テーマ	講義内容
授業進行	1	動物行動学の基礎 1	動物行動学の4つの問い（適応・進化・機構・発達） 行動の進化と適応、家畜化
	2	動物行動学の基礎 2	生得的行動と学習行動、脳による行動制御
	3	個体維持行動 1	摂食及び飲水行動、排泄行動
	4	個体維持行動 2	身づくろい行動、護身行動
	5	発達過程と社会行動 1	発達ステージ（新生子期・移行期・社会化期・若年期・成熟期・高齢期）と各時期の行動学的特徴、生殖活動（性行動・母性行動）
	6	発達過程と社会行動 2	コミュニケーション行動、敵対行動と親和的行動
	7	学習理論 1	行動形成、馴化と感作
	8	学習理論 2	古典的条件づけとオペラント条件づけ 学習に影響を与える因子
	9	学習理論 3	基本的なトレーニング法 （トイレトレーニング、クレートトレーニング、甘噛み対策など）
	10	問題行動 1	問題行動の定義と要因（遺伝的要因、生得的要因、環境要因）
	11	問題行動 2	攻撃行動の種類、原因（動機づけ）と治療法
	12	問題行動 3	恐怖・不安に起因する問題行動の原因と治療法
	13	問題行動・治療 1	不適切な排泄行動の原因（動機づけ）と治療法
	14	問題行動・治療 2	高齢性認知機能不全の原因と臨床徴候、対応
	15	問題行動・治療 3	行動診療の進め方、行動修正法と環境修正法の種類と適応、行動治療における薬物療法

2025年度入学生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物飼養管理学Ⅰ		担当講師 (実務経験)	池田　麻美　・　立石　淳子 有■　無□	
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	1年　（　■前期　・　■後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(10)　後期(5)	時間(単位)	30(2)
概要	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法				
テキスト等	愛玩動物飼養管理士　教本2級　第1巻　第2巻				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	※授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	社会活動　・　動物愛護論	公益社団法人日本愛玩動物協会の目的、事業 人は動物をどのように観てきたか
	2	ウサギの適正飼養について	ウサギの習性、特徴、適正飼養
	3	ハムスターの適正飼養について	ハムスターの習性、特徴、適正飼養
	4	鳥の特徴	体のつくり　・主な飼い鳥の特徴と習性　・毎日の世話と習性①
	5	動物飼養管理　2	その他哺乳類、鳥類の飼養管理
	6	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律
	7	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律
	8	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律
	9	動物飼養管理　1	犬と猫の飼養管理
	10	動物飼養管理　3	爬虫類の飼養管理・栄養と食事のポイント
	11	試験対策　1	模擬試験　①
	12	試験対策　2	模擬試験　②
	13	試験対策　3	模擬試験　③
	14	試験対策　4	模擬試験　④
	15	試験対策　5	模擬試験　⑤

2025年度入学生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	人と動物の関係学	担当講師（実務経験）	名取　裕憲 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科	年次・学期	1年　（　□前期　・　■後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（—）　後期（15）	時間（単位）	30（2）
概要	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）	※講義内容は変更になる場合があります。
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	人間と動物の関わり 1	動物の飼養・利用の歴史
	2	人間と動物の関わり 2	欧米と日本の動物観、動物との関わりの相違
	3	人間と動物の関わり 3	動物の飼養と利用の現状
	4	人間の福祉と愛玩動物の関わり 1	動物虐待と対人暴力の連動性に関する基礎知識
	5	人間の福祉と愛玩動物の関わり 2	多頭飼育崩壊（アニマル・ホーディング）
	6	人間の福祉と愛玩動物の関わり 3	愛玩動物が子供や高齢者に与える恩恵及び人間の加齢に伴って飼養困難になる様々な事情
	7	動物介在療法の活動と記録の活用	動物介在療法の活動と記録の活用・カルテ記入
	8	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 1	犬種選定、衛生管理と使用目的に沿った訓練、活動中の制御、事故防止
	9	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 2	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育への関わり
	10	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 3	動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響
	11	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 4	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の目的と内容
	12	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 5	動物介在教育に使用される動物の公衆衛生学的適正、行動学的適正
	13	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 6	当校の取り組み・体験授業-3　セラピー犬と車椅子体験
	14	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 7	当校の取り組み・体験授業-4　セラピー犬と車椅子体験
	15	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 8	学校飼育動物の目的や実態への関わり

2025年度入学生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	ビジネスマナー学	担当講師 （実務経験）	有田　惠 有■　無□
対象学科	犬の美容学科	年次・学期	1年　（　■前期　・　□後期　）

授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（15）　後期（-）	時間（単位）	30　（2）
概要	どうぶつと関わる業界で活躍するためのビジネスマナーとコミュニケーションの基本を習得し、就職活動のポイントを学ぶ				
テキスト等	ビジネスマナー学テキスト				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）	※授業進度は変更になる場合があります。
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	オリエンテーション 学びを考える	講義の進め方について 学生生活における学びを考える 「自立」について考える
	2	社会人に求められる姿勢	社会人に必要な姿勢、考え方を学ぶ
	3	ビジネスマナーの基本	ビジネスマナーの基本を学ぶ （あいさつ、身だしなみ、表情、立ち居振る舞い）
	4	ビジネスマナーの基本	ビジネスマナーの基本を学ぶ （言葉遣い、敬語の練習問題、配慮のある伝え方）
	5	コミュニケーションの基本	お客さまに寄り添い、情報や要望を引き出すコミュニケーションの基本を学ぶ（聴く・質問）
	6	コミュニケーションの基本	伝えるべきことを相手に分かりやすく伝えるための型を学ぶ
	7	電話応対	電話応対の基本、電話の受け方について学ぶ
	8	電話応対	電話のかけ方 ロールプレイング（練習）
	9	クレーム対応	クレーム対応の基本の流れを理解する
	10	クレーム対応	クレーム対応の練習
	11	組織に必要なチームワークとコミュニケーション	「組織に必要なチームワーク」について考える 「組織に求められるコミュニケーション」について学ぶ
	12	自己分析（キャリアデザイン）	社会人に求められる力を知る Will　Can　Mustで自己分析を行う
	13	履歴書、封筒の書き方	自分を伝える履歴書の書き方のポイントを学ぶ
	14	面接	面接マナー、質問事例を学ぶ
	15	自己宣言	一人ずつスピーチを行う

科目名	家庭犬適正飼養学Ⅰ	担当講師 (実務経験)	櫻井　音愛 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科	年次・学期	1年　(　■前期　・　■後期　)		
授業形態	■講義　実習コマ数(1コマ90分)		前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	家庭犬のしつけを中心とした動物の適正飼養及び管理について学ぶ				
テキスト等	講義に合わせてテキスト配布あり				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行	前期	講義テーマ	講義内容
	1	ガイダンス	人と犬との共生について・「しつけ」「訓練」とは
	2	犬とはどんな動物か	犬の本能、習性、社会構造
	3	しつけ用具・用語	しつけで使う用具と用語の説明
	4	しつけの目的　①	しつけをする目的・考え方
	5	しつけの目的　②	しつけの時期、時間
	6	社会化の重要性	社会化について
	7	犬種グループと特徴　①	分類　①
	8	犬種グループと特徴　②	分類　②
	9	犬の管理ー1	犬の管理における注意点(健康チェック・リードの使用法)
	10	犬の管理ー2	犬の管理における注意点(保管・排泄)
	11	犬の管理ー3	犬の管理における注意点(飼い主対応)
	12	犬の管理ー4	カルテ作成の目的と方法
	13	犬の基本動作-1	アイコンタクト・オスワリ・マテの教え方
	14	犬の基本動作-2	フセ・オイデ・脚側歩行の教え方
	15	犬の基本動作-3	まとめ

	後期	講義テーマ	講義内容
授業進行	16	初級しつけ教室講話-1	オスワリ～グループディスカッション①
	17	初級しつけ教室講話-2	オスワリ～犬の基本動作発表①
	18	初級しつけ教室講話-3	マテ～グループディスカッション②
	19	初級しつけ教室講話-4	マテ～犬の基本動作発表②
	20	初級しつけ教室講話-5	フセ・オイデ～グループディスカッション③
	21	初級しつけ教室講話-6	フセ・オイデ～犬の基本動作発表③
	22	初級しつけ教室講話-7	脚側歩行・オスワリからの脚側歩行～グループディスカッション④
	23	初級しつけ教室講話-8	脚側歩行・オスワリからの脚側歩行～グループディスカッション④
	24	初級しつけ教室講話-9	犬の基本動作発表①～④ー1
	25	初級しつけ教室講話-10	犬の基本動作発表①～④ー2
	26	初級しつけ教室企画ー1	主題と目的
	27	初級しつけ教室企画ー2	運営方法
	28	初級しつけ教室企画ー3	指導方法～言葉によるコミュニケーション方法
	29	初級しつけ教室企画ー4	指導方法～デモンストレーションによる方法
	30	総括	まとめ

2025度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	家庭犬適正飼養実習Ⅰ	担当講師 (実務経験)	櫻井　音愛 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科	年次・学期	1年　(　■前期　・　■後期　)		
授業形態	■実習　実習コマ数(1コマ90分)		前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(2)
概要	家庭犬のしつけを中心とした適正飼養及び管理について学びます				
テキスト等	実習着着用・バインダー・筆記用具				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	授業態度	20%
	レポート	
	小テスト・技術力・作品	%
	出席状況	20%

授業進行	前期	講義テーマ	講義内容
	1	犬の管理-1	ガイダンス
	2	犬の管理-2	健康チェック・リードの使用法・保管・排泄・カルテ作成
	3	犬の管理-3	犬の受け渡しにおける注意点(飼い主対応)
	4	犬の基本動作-1	歩行・上手なしかり方
	5	犬の基本動作-2	アイコンタクト
	6	犬の基本動作-3	フセ・オイデ
	7	犬の基本動作-4	脚側歩行
	8	犬の基本動作-5	オスワリから脚側歩行
	9	犬の制御-1	実践的なしつけ　①　～　スクールサポート犬
	10	犬の制御-2	実践的なしつけ　②　～　スクールサポート犬
	11	犬の制御-3	実践的なしつけ　③　～　スクールサポート犬
	12	犬の制御-4	実践的なしつけ　④　～　スクールサポート犬
	13	犬の制御-5	実践的なしつけ　⑤　～　スクールサポート犬
	14	犬の制御-6	実践的なしつけ　⑥　～　スクールサポート犬
	15	総括	まとめ

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

	後期	講義テーマ	講義内容
授業進行	16	犬の制御-7	実践的なしつけ ⑦ ～ スクールサポート犬
	17	犬の制御-8	実践的なしつけ ⑧ ～ スクールサポート犬
	18	犬の制御-9	実践的なしつけ ⑨ ～ スクールサポート犬
	19	犬の制御-10	実践的なしつけ ⑩ ～ スクールサポート犬
	20	犬の制御-11	実践的なしつけ ⑪ ～ スクールサポート犬
	21	犬の制御-12	実践的なしつけ ⑫ ～ スクールサポート犬
	22	犬の制御-13	実践的なしつけ ⑬ ～ スクールサポート犬
	23	犬の制御-14	実践的なしつけ ⑭ ～ スクールサポート犬
	24	犬の制御-15	実践的なしつけ ⑮ ～ スクールサポート犬
	25	犬の制御-16	実践的なしつけ ⑯ ～ スクールサポート犬
	26	犬の制御-17	実践的なしつけ ⑰ ～ スクールサポート犬
	27	犬の制御-18	実践的なしつけ ⑱ ～ スクールサポート犬
	28	犬の制御-19	実践的なしつけ ⑲ ～ スクールサポート犬
	29	犬の制御-20	実践的なしつけ ⑳ ～ スクールサポート犬
	30	総括	まとめ

2025年度入学生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	セラピー犬育成・活動論　Ⅰ	担当講師 (実務経験)	打越　一美 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科	年次・学期	1年　（　■前期　・　■後期　）		
授業形態	■講義　コマ数(1コマ90分)		前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	動物介在の基礎を身につけ、活動の企画を行う				
テキスト等	講義に合わせてテキスト配布あり【動物介在活動・教育・療法　必携テキストBasic】				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	授業態度	20%
	レポート	
	小テスト・技術力・作品	%
	出席状況	20%

授業進行	前期	講義テーマ	講義内容
	1	授業の説明	ガイダンス
	2	動物介在基礎ー1	動物の福祉について
	3	動物介在基礎ー2	人の障がいの理解と配慮
	4	動物介在基礎ー3	補助犬について
	5	動物介在基礎ー4	AAI(AAA/AAT/AAE)の目的と内容
	6	動物介在基礎ー5	日本での動物介在介入
	7	動物介在基礎ー6	動物介在に関わる職種の役割
	8	動物介在基礎ー7	アメリカでの動物介在介入
	9	動物介在基礎ー8	動物介在活動のハンドラーとして①／適正評価とは
	10	動物介在基礎ー9	動物介在活動のハンドラーとして②／適正評価実技
	11	動物介在基礎ー10	動物介在活動のハンドラーとして③／適正評価実技
	12	動物介在基礎ー11	動物介在活動のハンドラーとして④／適正評価実技
	13	動物介在基礎ー12	セラピー犬の稟性・適性・トレーニング①
	14	動物介在基礎ー13	セラピー犬の稟性・適性・トレーニング②
	15	総括	

	後期	講義テーマ	講義内容
授業進行	16	動物介在企画とは	ガイダンス／IAHAIOについて
	17	保久留美子先生特別講習	動物介在介入の中で「動物福祉」をどう考えるか
	18	保久留美子先生特別講習	動物介在介入の中で「動物福祉」をどう考えるか
	19	動物介在企画ー1	動物福祉コーディネーターとして①
	20	動物介在企画ー2	動物福祉コーディネーターとして②
	21	動物介在企画ー3	動物介在活動計画書の作成（高齢者）
	22	動物介在実践基礎ー1	動物介在活動　ロールプレイ①
	23	動物介在実践基礎ー2	動物介在活動　ロールプレイ②
	24	動物介在企画ー4	動物介在教育計画書の作成(児童)
	25	動物介在実践基礎ー3	動物介在活動　ロールプレイ③
	26	動物介在実践基礎ー4	動物介在活動　ロールプレイ④
	27	動物介在企画ー5	動物介在療育計画書の作成(身体障害者)
	28	動物介在実践基礎ー6	動物介在活動　ロールプレイ⑤
	29	動物介在実践基礎ー7	動物介在活動　ロールプレイ⑥
	30	動物介在企画ー6	総括

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	セラピー犬ハンドラー育成実習Ⅰ		担当講師 (実務経験)	名取　裕憲 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	1年　（　■前期　・　■後期　）		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(2)
概要	国際セラピードッグ協会、大木トオル先生による講習会を通してセラピードッグの現場実習に向けて後期は動物介在療法の応用を学ぶ					
テキスト等	筆記用具、実習着着用					

	評価方法	評価割合(%)
評価 方法 評価基準	定期試験	%
	授業態度	60%
	レポート	20%
	小テスト・技術力	%
	出席状況	20%

	後期	講義テーマ	講義内容
授業進行	1	ガイダンス-1	授業の流れ説明・セラピードッグについて
	2	ガイダンス-2	セラピードッグの世界(ビデオ鑑賞)
	3	CALL MANNERS-1	VOICE ・HAND・BODY・PRAIS　CALL-1
	4	CALL MANNERS-2	VOICE ・HAND・BODY・PRAIS　CALL-2
	5	CALL/STANDARD/WALKING MANNERS-1	VOICE ・HAND・BODY・PRAIS　CALLの応用/STANDARD
	6	CALL/STANDARD/WALKING MANNERS-2	NECK CHEK/HEEL/SIT/LAY DOWN/STAY/UP CALL-1
	7	CALL/STANDARD/WALKING MANNERS-3	ジュニアハンドラー認定試験part-Ⅰに向けて-1
	8	CALL/STANDARD/WALKING MANNERS-4	ジュニアハンドラー認定試験part-Ⅰに向けて-2
	9	CALL/STANDARD/WALKING MANNERS-5	NECK CHEK/HEEL/SIT/LAY DOWN/STAY/UP CALL/WALKING/LEASH CONTROL(講習会の復習)
	10	ジュニアハンドラー認定試験 part-Ⅰ	認定試験・partⅠ模擬試験
	11	ジュニアハンドラー part-Ⅱについて	認定試験概要について・partⅡ
	12	動物介在・ボランティア活動について-1	介在療法、活動(模擬練習)-1・後期試験概要説明
	13	ジュニアハンドラー認定試験に向けて-1	ジュニアハンドラー認定試験　part-Ⅰ(part-Ⅱ、WHEEL CHAI)試験に向けて-1
	14	ジュニアハンドラー認定試験に向けて-2	ジュニアハンドラー認定試験　part-Ⅰ(part-Ⅱ、WHEEL CHAI)試験に向けて-2
	15	まとめ	前期総括・動作発表

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

	後期	講義テーマ	講義内容
授業進行	16	認定試験PART Ⅰに向けて-1	CALL/STANDARD-1・CALL（基本動作）
	17	認定試験PART Ⅰに向けて-2	CALL/STANDARD-2・WALKING
	18	partⅡ・基本練習-1	WHEELCHAIA MANNERS/FOOTSP CARE
	19	partⅡ・基本練習-7	INDOOR/INSIDE AREA MANNERS ・LONG STAY RELAX
	20	partⅡ・基本練習-17	BED MANNERS（動作発表）-1
	21	partⅡ・基本練習-18	BED MANNERS（動作発表）-2
	22	認定試験PART Ⅱに向けて-1	WHEELCHAIA MANNERS-1
	23	認定試験PART Ⅱに向けて-2	WHEELCHAIA MANNERS-2
	24	認定試験PART Ⅱに向けて-3	INDOOR/INSIDE AREA MANNERS -1
	25	認定試験PART Ⅱに向けて-4	INDOOR/INSIDE AREA MANNERS -2
	26	認定試験PART Ⅱに向けて-5	BED MANNERS-1
	27	認定試験PART Ⅱに向けて-6	BED MANNERS-2
	28	認定試験PART Ⅰ/ Ⅱに向けて-1	国際セラピードッグ協会認定試験に向けて全体発表-1
	29	認定試験PART Ⅰ/ Ⅱに向けて-1	国際セラピードッグ協会認定試験に向けて全体発表-2
	30	まとめ	後期試験に向けて

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物栄養学		担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	1年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)後期(ー)	時間(単位)	30(2)
概要	犬猫に必要な栄養を理解しペットフード給与量での栄養管理ができるような知識を学ぶ					
テキスト等	ビジュアルで学ぶ動物看護学 【第2版】					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	※授業進度は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	基礎栄養	栄養とは何か　6大栄養素・消化と吸収
	2	栄養各論①	たんぱく質・炭水化物・脂質
	3	栄養各論②	ビタミン・ミネラル・水
	4	食性の違い①	犬と猫の違い
	5	食性の違い②	嗜好性の決定・給与方法
	6	ライフステージ①	哺乳・離乳・成長期
	7	ライフステージ②	妊娠・授乳期
	8	ライフステージ③	維持期・老齢期
	9	栄養要求量①	BCS評価・要求量とは何か
	10	栄養要求量②	エネルギー要求量計算法
	11	ペットフード学①	ペットフードの概念、歴史
	12	ペットフード学②	目的別食種類・ラベル表示・ペットフード安全法
	13	ペットフード学③	特別療法食
	14	手作り食①	食べてはいけない食べ物・観葉植物
	15	手作り食②	レシピ作成・カロリー計算

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物看護学Ⅰ	担当講師（実務経験）	中山　美帆 有■　無□
対象学科	動物福祉学科	年次・学期	1年　（　■前期　・　□後期　）

授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（15）後期（-）	時間（単位）	30（2）

概要	動物医療に関する知識を身につけ、動物の保定、手術の準備、入院動物の世話や健康管理などの診療補助を中心に、動物病院の受付業務や清掃、設備費品の管理などの院内業務を学ぶ
テキスト	ビジュアルで学ぶ動物看護学 【第2版】

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）	※講義内容は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	日常の健康管理　1	全身の手入れ
	2	日常の健康管理　2	口腔衛生
	3	予防管理　1	犬の登録・混合ワクチン
	4	予防管理　2	イヌ糸条虫のライフサイクル、予防
	5	予防管理　3	外部寄生虫
	6	予防管理　4	内部寄生虫
	7	予防管理　5	去勢手術、避妊手術
	8	感染症　1	感染とは、消毒法と消毒薬
	9	感染症　2	代表的な感染症①
	10	感染症　3	代表的な感染症②
	11	人獣共通感染症　1	意義・定義・咬傷などによる感染症
	12	人獣共通感染症　2	日常生活に関係する感染症
	13	動物病院業務　1	動物看護とは・定義、動物看護倫理
	14	動物病院業務　2	院内における役割
	15	動物病院業務　3	受付業務・問診・カルテ

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物看護学Ⅱ	担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□		
対象学科	動物福祉学科	年次・学期	1年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	動物医療に関する知識を身につけ、動物の保定、手術の準備、入院動物の世話や健康管理などの診療補助を中心に、動物病院の受付業務や清掃、設備費品の管理などの院内業務を学ぶ				
テキスト	ビジュアルで学ぶ動物看護学 【第2版】				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	※講義内容は変更になる場合があります
	定期試験	60%	
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	医薬品の基礎知識　1	医薬品・器具の取り扱い
	2	医薬品の基礎知識　2	投与方法、薬用量計算
	3	臨床検査技術実習　1	院内で行われる様々な検査
	4	臨床検査技術実習　2	全身健検査、保定法①
	5	臨床検査技術実習　3	全身健検査、保定法②
	6	臨床検査技術実習　4	全身健検査、保定法③
	7	臨床検査技術実習　5	各種器具の取り扱い
	8	臨床検査技術実習　6	糞便検査の目的
	9	臨床検査技術実習　7	検査方法①
	10	臨床検査技術実習　8	検査方法②
	11	臨床検査技術実習　9	尿検査の目的
	12	臨床検査技術実習　10	検査方法①
	13	臨床検査技術実習　11	検査方法②
	14	臨床検査技術実習　12	皮膚検査
	15	臨床検査技術実習　13	心電図・レントゲン・超音波検査

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	介護職員初任者研修		担当講師 (実務経験)	佐渡　夏子 有■　無□	
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	1年　(　□前期　・　■後期　)	
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-)　後期(61)	時間(単位)	122(8)
概要	高齢者や障害者のための介護の知識・技術を習得し、医療・高齢者・障害者施設等において、人と動物を結びつける動物介在従事者の基礎を理解する。				
テキスト等	介護職員初任者研修テキスト全2巻セット(中央法規出版)				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	その他(授業態度・出席状況など授業に対する姿勢を評価)
	定期試験	60%	
	レポート・技術力・作品 小テスト	20%	
	授業態度	%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	多様なサービスの理解　1	介護保険サービスと保険外サービスについて①
	2	多様なサービスの理解　2	介護保険サービスと保険外サービスについて②
	3	介護職の仕事内容や働く現場の理解　1	サービスを提供する現場の理解①
	4	介護職の仕事内容や働く現場の理解　2	サービスを提供する現場の理解②
	5	介護職の安全　1	介護職の心身の健康管理と感染予防①
	6	介護職の安全　2	介護職の心身の健康管理と感染予防②
	7	自立に向けた介護	自立支援と介護予防について
	8	介護におけるチームのコミュニケーション	介護現場の記録における情報の共有化
	9	医療との連携とリハビリテーション	医療行為と介護、リハビリテーションの理念
	10	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	身体障害、知的障害、精神障害についての理解
	11	介護におけるチームのコミュニケーション	報告連絡相談とコミュニケーションを促す環境の理解
	12	老化に伴うこころとからだの変化と日常　1	老年期の発達と老化にともなう心身の変化・特徴①
	13	老化に伴うこころとからだの変化と日常　2	老年期の発達と老化にともなう心身の変化・特徴②
	14	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活　1	認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴と対応①
	15	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活　2	認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴と対応①

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	介護に関するからだのしくみの基礎的理解 1	人体の構造、骨・関節・筋に関する基礎的理解、ボディメカニクス①
	17	介護に関するからだのしくみの基礎的理解 2	人体の構造、骨・関節・筋に関する基礎的理解、ボディメカニクス②
	18	介護に関するからだのしくみの基礎的理解 3	人体の構造、骨・関節・筋に関する基礎的理解、ボディメカニクス③
	19	生活と家事 1	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援①
	20	生活と家事 2	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援②
	21	生活と家事 3	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援③
	22	快適な居住環境整備と介護 1	快適な居住環境に関する基礎知識と福祉用具の活用①
	23	快適な居住環境整備と介護 2	快適な居住環境に関する基礎知識と福祉用具の活用②
	24	快適な居住環境整備と介護 3	快適な居住環境に関する基礎知識と福祉用具の活用③
	25	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1	睡眠の基礎知識、睡眠環境整備と用具の活用方法(実技演習)①
	26	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 2	睡眠の基礎知識、睡眠環境整備と用具の活用方法(実技演習)②
	27	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 3	睡眠の基礎知識、睡眠環境整備と用具の活用方法(実技演習)③
	28	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 4	睡眠の基礎知識、睡眠環境整備と用具の活用方法(実技演習)④
	29	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1	移動・移乗の基礎知識、負担の少ない支援方法(実技演習)①
	30	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 2	移動・移乗の基礎知識、負担の少ない支援方法(実技演習)②
	31	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 3	移動・移乗の基礎知識、負担の少ない支援方法(実技演習)③
	32	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 4	移動・移乗の基礎知識、負担の少ない支援方法(実技演習)④
	33	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1	整容の基礎知識、静養の支援技術(実技演習)①
	34	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 2	整容の基礎知識、静養の支援技術(実技演習)②
	35	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 3	整容の基礎知識、静養の支援技術(実技演習)③
	36	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 4	整容の基礎知識、静養の支援技術(実技演習)④
	37	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1	食事の基礎知識、楽しい食事の支援(実技演習)①
	38	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 2	食事の基礎知識、楽しい食事の支援(実技演習)②

		講義テーマ	講義内容
授業進行	39	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 3	食事の基礎知識、楽しい食事の支援(実技演習)③
	40	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 4	食事の基礎知識、楽しい食事の支援(実技演習)④
	41	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1	入浴・清潔保持に関する基礎知識、支援方法(実技演習)①
	42	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 2	入浴・清潔保持に関する基礎知識、支援方法(実技演習)②
	43	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 3	入浴・清潔保持に関する基礎知識、支援方法(実技演習)③
	44	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 4	入浴・清潔保持に関する基礎知識、支援方法(実技演習)④
	45	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 1	排泄の基礎知識、排泄用具の活用と支援(実技演習)①
	46	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 2	排泄の基礎知識、排泄用具の活用と支援(実技演習)②
	47	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 3	排泄の基礎知識、排泄用具の活用と支援(実技演習)③
	48	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 4	排泄の基礎知識、排泄用具の活用と支援(実技演習)④
	49	介護過程の基礎的理解 1	介護過程の目的・意義・展開、チームアプローチ①
	50	介護過程の基礎的理解 2	介護過程の目的・意義・展開、チームアプローチ②
	51	介護過程の基礎的理解 3	介護過程の目的・意義・展開、チームアプローチ③
	52	介護過程の基礎的理解 4	介護過程の目的・意義・展開、チームアプローチ④
	53	総合生活支援技術演習 1	事例による展開(支援の提供を考える)①
	54	総合生活支援技術演習 2	事例による展開(支援の提供を考える)②
	55	総合生活支援技術演習 3	事例による展開(支援の提供を考える)③
	56	総合生活支援技術演習 4	事例による展開(支援の提供を考える)④
	57	快適な居住環境整備と介護	快適な居住環境に関する基礎知識と福祉用具の活用
	58	振り返り 1	研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと①
	59	振り返り 2	研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと①
	60	振り返り 3	研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと①
	61	修了評価	資格取得のための修了試験

科目名	トリミング基礎実習		担当講師 (実務経験)	林 恵 有■ 無□		
対象学科	動物福祉学科		年次学期	1年 （ ■前期 ■後期 ）		
授業形態	□講義 ■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(60) 後期(60)	時間(単位)	180(6)
概要	トリミングの基礎を身に付ける					
テキスト等	実習器具 トリミング学Ⅰテキスト 犬体モデル					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト技術力作品 レポート	20%
	授業態度	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	ガイダンス 1	トリミング実習時の身だしなみ
	2	ガイダンス 2	実習器具名前つけ犬体モデル配布 ブラッシング練習
	3	ガイダンス 3	実習室の掃除と消毒法 キャリーケース消毒法
	4	ガイダンス 4	ウィッグのブラッシング シザー練習
	5	ガイダンス 5	トリミング実習前の準備 掃除の実践
	6	ガイダンス 6	ブラッシング練習 綿棒の作り方
	7	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法1
	8	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法2
	9	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法3
	10	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法4
	11	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法5
	12	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法6
	13	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法7
	14	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法8
	15	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法9

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法10
	17	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法11
	18	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法12
	19	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法13
	20	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法14
	21	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法15
	22	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法16
	23	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法17
	24	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法18
	25	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法19
	26	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法20
	27	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法21
	28	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法22
	29	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法23
	30	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法24
	31	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法25
	32	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法26
	33	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法27
	34	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法28
	35	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法29
	36	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法30
	37	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法31

		講義テーマ	講義内容
授業進行	38	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法32
	39	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法33
	40	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法34
	41	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法35
	42	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法36
	43	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法37
	44	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法38
	45	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法39
	46	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法40
	47	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法41
	48	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法42
	49	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法43
	50	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法44
	51	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法45
	52	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法46
	53	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法47
	54	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法48
	55	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法49
	56	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法50
	57	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法51
	58	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法52
	59	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法53
	60	基礎実習　ステップ1	グルーミング作業　犬の保定　器具の使用法54

		講義テーマ	講義内容
授業進行	61	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　1
	62	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　2
	63	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　3
	64	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　4
	65	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　5
	66	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　6
	67	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　7
	68	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　8
	69	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　9
	70	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　10
	71	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　11
	72	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　12
	73	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　13
	74	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　14
	75	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　15
	76	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　16
	77	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　17
	78	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　18
	79	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　19
	80	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　20
	81	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　21
	82	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　22
	83	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　23

		講義テーマ	講義内容
授業進行	84	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　24
	85	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　25
	86	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　26
	87	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　27
	88	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　28
	89	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　29
	90	基礎実習　ステップ2	時間配分・部分カット　30
	91	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　1
	92	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　2
	93	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　3
	94	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　4
	95	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　5
	96	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　6
	97	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　7
	98	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　8
	99	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　9
	100	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　10
	101	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　11
	102	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　12
	103	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　13
	104	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　14
	105	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　15

授業進行	106	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　16
	107	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　17
	108	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　18
	109	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　19
	110	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　20
	111	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　21
	112	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　22
	113	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　23
	114	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　24
	115	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　25
	116	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　26
	117	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　27
	118	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　28
	119	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　29
	120	基礎実習　ステップ3	時間配分・部分カット・全身カット　30

2025年度入学生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	職場体験実習Ⅰ		担当講師 (実務経験)	宮南　亜由香 有■　　無□		
対象学科	動物福祉学科		年次・学期	1年　（　□前期　・　■後期　）		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(-)　後期(35)	時間(単位)	70(2)
概要	学校で修得した知識や技術を基に、技術者としての役割や責任を理解し、実務能力を修得する					
テキスト等						

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	
	定期試験	%	実習先での評価を基に総合的に評価
	小テスト・技術力・作品	%	実習前オリエンテーションの実施
	レポート	50%	施設により実習内容は変更になる場合があります
	授業態度	30%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	31	企業実習	企業における専門職の役割を理解する 企業を見学し、施設や設備を理解する 愛玩動物を適正に管理する方法について理解する 企業の衛生管理・環境整備の必要性を理解する 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	32		
	33		
	34		
	35		